

マルホンまきあーとテラス オープニング事業



指揮
原田慶太楼

©Shin Yamagishi

東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



ピアノ
小曽根真

©Kazuyoshi Shimomura



サクソフォーン
上野耕平

©S.Ohsugi

2022 2/6 日

14:00 開演 (13:00 開場)

会場 マルホンまきあーとテラス 大ホール
(石巻市複合文化施設)

program

ビゼー(山中惇史編曲)
カルメンファンタジーforサクソフォン
ラフマニノフ
ピアノ協奏曲第2番ハ短調op.18
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)
組曲「展覧会の絵」

チケット 2021.10/30(土)9時~
発売日 ココロの友の会先行 2021.10/27(水)9時~

入場料 ※当日券は各500円増
S席 一般 4,000円 / 高校生以下 2,000円
A席 一般 3,000円 / 高校生以下 1,500円
オープンイヤーシート 1,000円
(10席限定、お一人2枚まで)

プレイガイド▶マルホンまきあーとテラス
(窓口・インターネット <https://makiart.jp>)
河北総合センタービッグバン、遊楽館
ヤマト屋書店TSUTAYA中里店・あけぼの店

※車いす席(一般3,000円、高校生以下1,500円)を
お求めの方は、マルホンまきあーとテラスにお問合せください。
※未就学児の入場はご遠慮願います。

お問合せ マルホンまきあーとテラス TEL 0225-98-5630
宮城県石巻市開成 1-8

主催 石巻市 / 石巻市教育委員会 / 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団 / tbc東北放送
後援 石巻日日新聞社 / 三陸河北新報社(石巻かほく) / ラジオ石巻 FM76.4



宮城文化振興財団





©Shin Yamagishi

原田 慶太楼 Keitaro Harada

現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジアを中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。

シンシナティ交響楽団およびシンシナティ・ポップス・オーケストラ、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンから、アメリカジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督に就任。

オペラ指揮者としても実績が多く、アリゾナ・オペラやノースカロライナ・オペラに定期的に出演、シンシナティ・オペラ、ブルガリア国立歌劇場でも活躍。

10年タンゲルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、13年ブルーノ・ワルター指揮者プレビュー賞、14・15・16・20・21年米国シヨルティ財団キャリア支援賞受賞。09年ロリン・マゼール主催の音楽祭「キャッツルトン・フェスティバル」にマゼール本人の招待を受けて参加。11年には芸術監督ファビオ・ルイジの招聘によりPMFにも参加。

85年東京生まれ。インターロッケン芸術高校音楽科において、指揮をF.フェネルに師事。

オーケストラやオペラのほか、室内楽、バレエ、ポップスやジャズ、そして教育的プログラムにも積極的に携わっている。

2021年4月東京交響楽団正指揮者に就任。 オフィシャル・ホームページ kharada.com/ @KHconductor

小曾根 真 Makoto Ozone

1983年パークリー音楽大学ジャズ作・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。2003年グラミー賞ノミネート。

チック・コリア、ゲイリー・パートン、ブランフォード・マルサリス、パキート・デリベラなど世界的なプレイヤーとの共演や、自身が率いるトリオやビッグ・バンドの活動など、ジャズの最前線で活躍を続けている。また、クラシックにも本格的に取り組み、NYフィル、サンフランシスコ響、シカゴ交響楽団など、国内外のオーケストラと、モーツァルト、ラフマニノフ、プロコフィエフなどの協奏曲の演奏でも高い評価を得ている。さらに、映画音楽など、作曲にも意欲的に取り組み、多彩な才能でジャンルを超え、幅広く活躍を続けている。

2019年、小曾根真 featuring No Name Horses 15周年記念アルバム、「Until We Vanish」をリリース。2020年はコロナ禍の緊急事態宣言中、53日間に及ぶ自宅からのライブ配信活動「Welcome to Our Livingroom」に多くの視聴者を集め話題となった。2021年3月には還暦を迎え、全国都道府県にて「OZONE60」と題してリサイタルを中心にプロジェクトを展開している。平成30年度紫綬褒章受章。 オフィシャル・サイト <https://makotoozone.com/>



©Kazuyoshi Shimomura

上野 耕平 Kohei Ueno

8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。

第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。

2014年第6回アドルフ・サクソ国際コンクールにおいて、第2位を受賞。

常に新たなプログラムに挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。

現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ演奏活動のみならず、ラジオの司会などメディアへの出演や、サクソカルテット「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽「ばんだウインドオーケストラ」のコンサートマスターとしても活躍中。CDデビューは2014年、最新のソロアルバムは「アドルフに告ぐII」。

2018年第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞奨励賞受賞。

Official HP : <http://uenokohei.com>



©S.Ohsugi

東京都交響楽団 Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。また、ソロ・コンサートマスターを矢部達哉、四方恭子、コンサートマスターを山本友重が務めている。東京文化会館、サントリーホール、東京芸術劇場での定期演奏会を中心に、小中学生への音楽鑑賞教室(50回以上/年)、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる「サラダ音楽祭」を開催するなど、多彩な活動を展開。「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、《オリンピック讃歌》の演奏(大野和士指揮/録音)を務めた。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のとりくみ

ご来場の皆様・出演者・スタッフの安全と安心の確保に努めてまいります。会場内ではソーシャルディスタンスを確保し、座席は間隔をあけてお座りいただきます。マスクの着用・手指の消毒・検温等、施設の感染対策にご協力いただきますようお願いいたします。

330の友の会

メールマガジン会員登録

マルホンまきあーとテラスの公演情報をお届けします
こちらから登録できます
<https://makiart.jp>

